

かわさき かわら版

No.20

2016 早春号

CONTENTS

● 院長就任のご挨拶

院長 川崎 誠治

● フットケアの紹介

東6階看護師・フットケア指導士 岡島 淳美

新病院 新築工事ニュース Vol.13

● 新病院は本年12月1日開院予定です

地域連携便り

● ～かかりつけ医を持ちましょう～

一般財団法人淳風会 旭ヶ丘病院

● 季節の健康レシピ

栄養部 管理栄養士 渡邊 希

院長就任のご挨拶



院長 川崎 誠治

このたび、1月15日をもちまして、川崎医科大学附属川崎病院 院長に就任いたしました。初代病院長故川崎祐宣の「病院は患者のためにある」という思いを継承し、これまで以上に地域の皆様から信頼され、先進的で質の高い高度な医療を提供してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、平成25年12月に着工しました新病院建築工事は計画どおり順調に進んでおり、今年の8月に竣工の見込みで、開院は12月1日を予定しています。新病院におきましても「医療は患者のためにある」という理念のもと、どのような疾病の患者さんも診させていただき、また川崎医科大学の附属病院として「総合医」を育成する使命を果たすべく、新築移転を機に病院の名称を「川崎医科大学総合医療センター」に変更いたします。

新病院でも、地域住民が安心して暮らせる「救急医療」、がん治療など最先端の医療を提供する「高度専門医療」、患者さんの早期社会復帰を図る「リハビリテーション」の3本を柱に、患者さん中心の質の高い先進的医療を提供いたします。また、医師、看護師などのメディカルスタッフを志す学生の臨床実習を積極的に受け入れ、将来の良き医療人を育成して、医療と教育の分野で地域に貢献してまいります。

今後とも引き続き、ご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

フットケアの紹介

～フットケア指導士からみたフットケア～

東6階看護師・フットケア指導士

岡島 淳美



近年、糖尿病など生活習慣病の増加に伴い、足の病変も増えており、病変に対する治療・予防を総括した、フットケアに対する関心が高まってきています。フットケアの一番の目的は、足のハイリスク疾患をもつ患者さんの切断を回避し、より快適な日常生活を送れるように援助することです。現在当院には4名のフットケア指導士がいます。フットケア指導士は、フットケアの知識と技術を身につけたスペシャリストのことです。フットケアの正しい知識と啓発、普及を目指し設立された日本フットケア学会が認定した資格で、患者さんとケア提供者のフットケアに関する知識と技術の向上を目指しています。

具体的な業務内容として、患者さんの足の清潔を守るためのケア、保湿洗浄のほかに症状に応じた生活指導を行っています。トラブルとして外反母趾や巻き爪、タコ、うおのめ、足白癬などがあり、患者さんの爪を切ったり、タコを削ったりなどもします。また、それらを予防するための爪の切り方や靴選びのアドバイスなどもします。

健康な人は、あかぎれ、足白癬、巻き爪などで足を失うことはありませんが、糖尿病や下肢閉塞性動脈硬化症などに罹患していたり、高齢者では些細な足の傷で足を失いかねません。だからこそ「フットケア」が重要と考えます。フットケアの第一歩は「足を診る」ことから始まります。外科病棟では入院患者全員にフットチェックを行い、足病変の早期発見、早期治療ができるようにしています。

新病院は本年12月1日開院予定です

附属川崎病院の新築移転工事は、昨年12月下旬に屋上階ヘリポートのコンクリート打設が終わり、建物の主要構造部分（柱、床など）を作る躯体工事は完了しました。

建物内部では地下階から15階まで内装工事が進み、早くに着手した低層階では、配線・配管等の設備工事、壁間仕切り工事などが終わり、床・壁・天上の仕上げ工事および造作家具の取り付けを行っています。建物外部では、上層階の外装工事（外壁、アルミパネル、窓枠サッシなどの取り付け）が概ね完了しました。

また、1月からは工事現場の仮設フェンスを撤去し、敷地周囲の歩道や道路を整備する外構工事に着手しています。いよいよ今年の8月末には建物が完成し、開院に向けた準備期間を経て、12月1日に開院予定です。

今後も新しい情報を随時発信してまいりますので、引き続きご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



2階外来診察室前（内装工事の様子）



外来エスカレーターの設置工事



工事全景（平成28年2月22日撮影）



地域連携便り

～かかりつけ医を持ちましょう～

一般財団法人淳風会 旭ヶ丘病院



院長 久本 信實 先生

診療科目	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病内科、内視鏡内科、リハビリテーション科
所在地	〒700-0072 岡山市北区万成東町3-1
T E L	086-252-1185
F A X	086-253-5468
U R L	http://junpukai.or.jp/asahigaoka/
病床数	医療療養型病棟60床
休診日	日曜日、祝祭日、土曜日午後、お盆、年末年始



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	休診
14:00～17:00	○	○	○	○	○	休診	休診



院長先生からのコメント

医療療養病棟はさまざまな役割を求められています。急性期病院の受け皿となる後方支援病院としての役割、施設や在宅では対応困難な医療依存度の高い慢性期疾患を持つ患者さんに対する長期療養支援、地域のかかりつけ医として慢性期の急性増悪や軽症外来急性疾患の治療、また、それらの患者さんに対する在宅復帰支援機能の強化が不可欠となっております。その重責を担うべく、真の高齢者医療を実践できる医療機関であるために看護・介護力のレベルアップを図るとともに、引き続き維持期のリハビリテーションの提供を行っていきたくと考えております。

季節の健康レシピ⑨

野菜たっぷりの温かいものを食べて、今年一年健康に過ごしましょう



栄養部 管理栄養士 渡邊 希

●豚汁

～たっぷり野菜で栄養バランスの良いおかずにもなります～

野菜がたっぷり摂れ、さらにビタミンB1やB12を多く含む豚肉も一緒に摂れるので、寒さや疲れた身体にとっても効果があり、食物繊維も豊富です。



材料：4人分

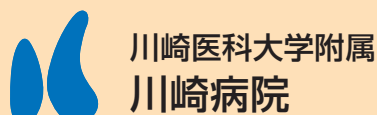
豚バラ肉	140g
さつまいも	80g
大根	50g
ごぼう	30g
人参	30g
しめじ	20g
こんにゃく	30g
青ネギ	1/2本
水	4カップ
昆布	6cm角
みそ	40g

*好みで七味唐辛子
(1人分：エネルギー200kcal
食物繊維2.6g 塩分1.4g)



《作り方》

- ①大根、人参は、短冊切りに、さつまいもは1cm角、ごぼうは斜め薄切りにし、水につけてアクを抜いておく。しめじはほぐしておく。
- ②豚バラ肉は4cm長さに切る。
- ③青ネギは小口切りにする。
- ④鍋に①と②を入れて、分量の水、昆布を入れて中火にかけて、煮立ったらアクを取り、昆布を取り出し弱火にする。大根と人参が柔らかくなればみそを溶き入れて味付けし、青ネギを加えて火を止め、椀に注いで、好みで七味唐辛子をふりかける。



〒700-8505 岡山県岡山市北区中山下2-1-80
TEL. (086) 225-2111 (代) FAX. (086) 232-8343
病院庶務課庶務係 (内線) 3316, 3318
<http://www.kawasaki-m.ac.jp/kawasakihp/>
E-mail: kwisyomu@med.kawasaki-m.ac.jp



屋上庭園(ふれあいガーデン)